



BootManiaについて

BootManiaはNetBootやNetInstallをおこなうためのアプリケーションです。

■NetBoot/ネットブートとは

サーバとなるMacに置いたOSのイメージファイルから、ネットワーク経由でクライアントのMacを起動できます。このときクライアントのMacにはハードディスクが搭載されていなくても起動可能です。

■NetInstall/ネットインストールとは

サーバとなるMacに置いたOSのイメージファイルから、ネットワーク経由でクライアントのMacにOSをインストールできます。

BootManiaがサポートするOS

BootManiaは以下のOSをサポートします。

NetBoot

- Mac OS 9.2
- Mac OS X (10.3/10.4)
- Darwin (7.X/8.X)
- OpenDarwin (7.X)
- Mac OS X起動形式のブータブルCD各社ツール(10.3/10.4) TechTool/Drive Genius等

※BootManiaではMac OS 9.2のイメージ作成はおこなえません。

※ブータブルCD形式の各社ツールについては、個別に確認をおこなっておりません。動作するかどうかは各ツールの作りに依存するため、ご自身でご確認願います。

NetInstall

- Mac OS X (10.3/10.4)
- Darwin (7.X/8.X)
- OpenDarwin (7.X)
- Linux (Fedora/Debian/YellowDog/Ubuntu/OpenSUSE/CentOS)
- BSD (NetBSD/OpenBSD)

※LinuxおよびBSDのイメージはインターネットからのダウンロードとなります。ブート後のインストールソースはインターネットか、あらかじめダウンロードしたISOイメージを使用します。

環境条件

NetBoot/NetInstallをおこなうために、以下のものがが必要です。

ネットワーク環境

100Mb以上のネットワーク環境。スイッチングハブなど、サーバとクライアントのMacを接続するための機器。クライアント側は、ワイヤレスネットワークインタフェースからのブートには対応していません。クライアントは内蔵Etherのポートからのみブートできます。無線LAN Ethernet変換メディアコンバータ等によって物理的に変換をおこなえば可能と思われませんが、機器個別での確認はおこなっておりません。

ネットブートサーバとなるMac

- OS X 10.4.7以降(Tiger)が動作していること
- 100Mb以上のイーサネットインタフェース
- 起動パーティションにNetBoot/NetInstallのイメージを作成する為の空きハードディスク容量

ネットブートサーバとなるMacにBootManiaをインストールします。

ネットブートクライアントのMac

NetBoot対応Macであること。NetBoot可能なMacは以下の2種類に分類できます。

NetBoot1対応Mac

- iBook (シエル型iBookの一部、Dual USB以前のもの)
- iMac (トレーロディングドライブ)
- Macintosh Server G3 (Blue and White)
- Power Macintosh G3 (Blue and White)
- Power Mac G4 (PCI Graphics)
- PowerBook G3 (Bronze Keyboard)

NetBoot2対応Mac

- NetBoot1対応Mac以降に発売されたMac

※かならずファームウェアを最新のものにアップデートしてください。Apple社のホームページでダウンロードできます。特にNetBoot1対応のMacでは、ファームウェアを更新しないとネットブートできないなどの症状が発生する場合があります。

必要メモリ

- Mac OS 9/Linux/BSDを起動するクライアントの場合64MB
- Mac OS X/Darwin/OpenDarwinを起動するクライアントの場合128MB

DHCPサーバ

IPアドレスを各クライアントに自動的に割り振る為のサーバです。ネットブートをおこなうときクライアントはDHCPからのIPアドレス割当を必要とします。ブロードバンドのインターネットに接続されている方は、ADSLモデムなどにこの機能が搭載されています。BootManiaにはネットブートサーバマシン上でDHCPサーバを動作させる機能があります。NetBoot1対応クライアントはネットブート時に通常のDHCPサーバからIPアドレスの割当を受けることができないのでBootManiaのDHCPサーバを動作させる必要があります。自分で管理していないネットワーク上で管理者に相談無くDHCPサーバを動作させることは避けてください。ネットワークトラブルの原因になる可能性があります。

NetBootのイメージ作成において

ネットブートイメージを作成するための元(ソース)となるハードディスクかディスクイメージが必要です。BootManiaはOSインストール済みのハードディスクや、それを元に作成したディスクイメージを元にNetBootイメージを作成します。NetBootのイメージ作成では、ソースに起動パーティションやネットワークボリュームを使用することができません。起動パーティションを含んだハードディスクとは別のハードディスクかディスクイメージファイルが必要になります。NetBootのイメージに対し直接、ソフトウェアアップデートをおこなうこ

とはできませんので、一定周期でイメージを作り直す使い方が望ましいです。

NetInstallのイメージ作成/使用において

ネットインストールイメージを作成するための元(ソース)となるインストールCD/DVD/イメージ等のメディアが必要になります。詳細は以下のとおりです。

Mac OS X 10.3

CDメディアもしくは、CDから作成したディスクイメージ

Mac OS X 10.4

CD/DVDメディアもしくは、CD/DVDから作成したディスクイメージ

Darwin 7.X/8.XおよびOpenDarwin 7.X

CDメディアもしくは、ディスクイメージ

Linux/BSD

インターネット経由でインストールされない方はインストールCDのISOディスクイメージ

※Mac OSX のインストールCD/DVDについては、パッケージ版にて動作確認をおこなっております。Mac購入時に添付されるインストールメディアについては、個別に検証をおこなっておりません。

インストール

BootManiaをアプリケーションフォルダ等にコピーしてください。
書き込み不可のメディア上では、動作しません。



アンインストール

BootManiaのアイコンをゴミ箱に入れ削除してください。
ブートイメージは以下のディレクトリごとゴミ箱に入れ、削除してください。

起動ディスクのライブラリにある「NetBoot」フォルダ

試用版の制限について

試用版では、以下の制限があります。

- ネットブートサービス開始後、約7分で強制的にサービスを停止します。
- ブートイメージの作成においては圧縮形式のイメージが作成できません。

上記制限がありますがLinux/BSDのインターネット経由のネットインストールでは、この制限は関係がないため(制限時間前にインストーラのブートが完了する)、ほぼ製品版と同様に使用できます。

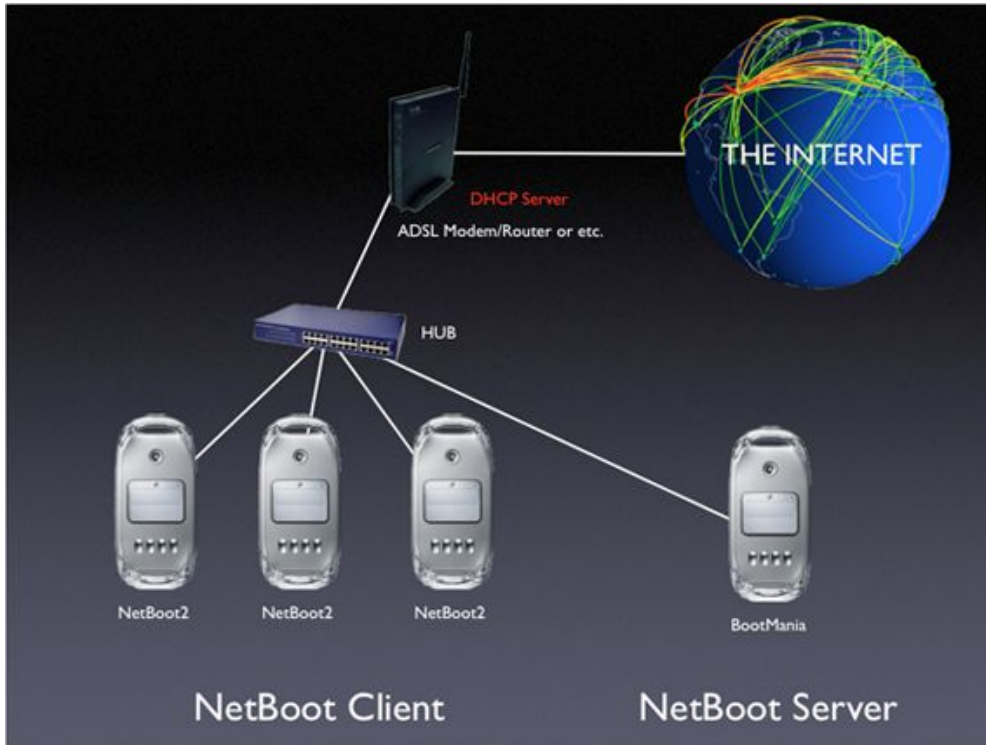
試用版での注意事項

サービス強制停止前に、ブートさせたクライアントを停止しなかった場合には、クライアントのMacをリセットボタンなどを押して再起動する必要があります。

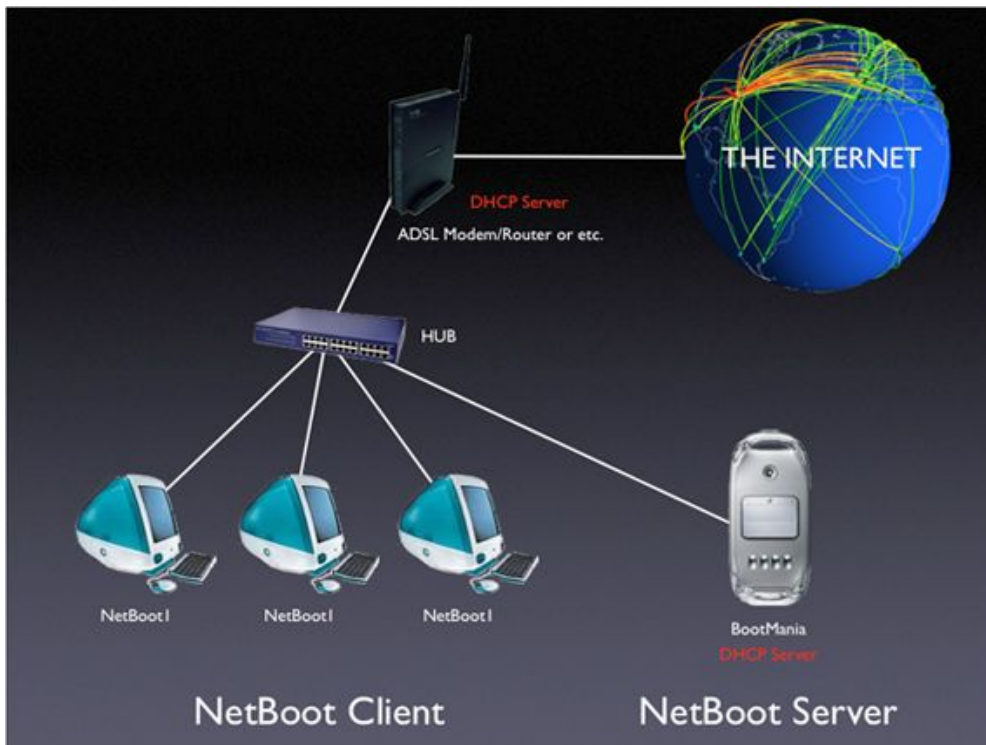
BootMania使用手順の流れ

- ネットワーク環境の確認
- BootMania実行
- BootMania設定
- イメージ作成/ダウンロード
- NetBootサービス開始
- クライアント起動
- クライアント稼働状況の確認/制御
- クライアント停止
- NetBootサービス停止
- BootMania終了

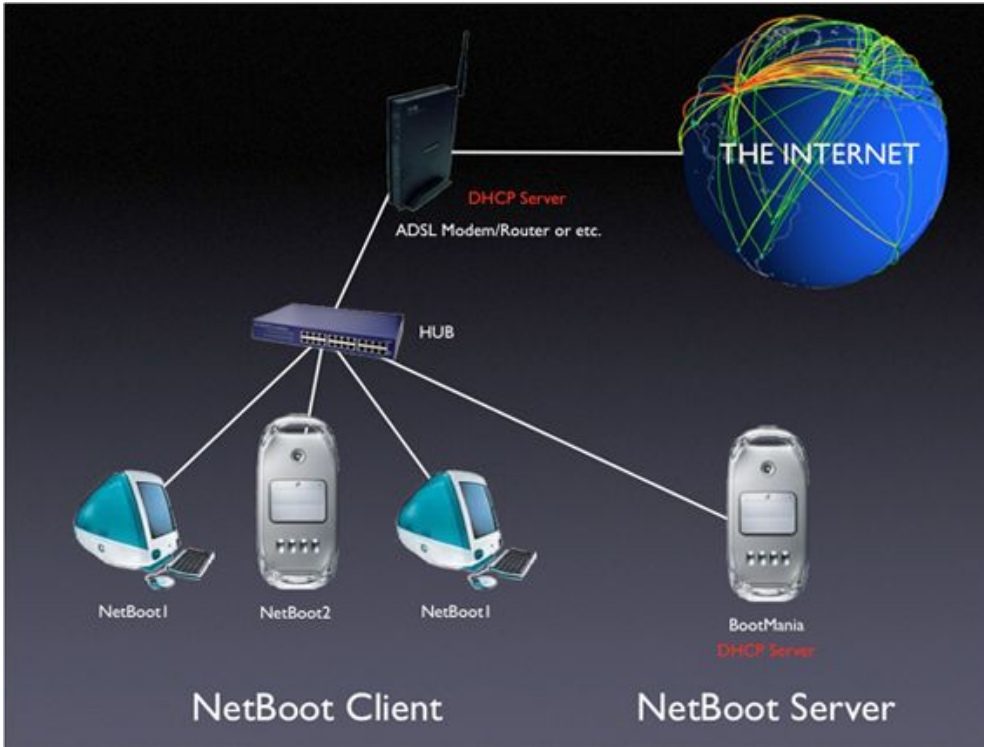
- 既存のDHCPサーバを使用する環境(NetBoot2対応クライアントのみ)



- BootManiaのDHCPサーバを使用する環境(NetBoot1対応クライアントのみ)

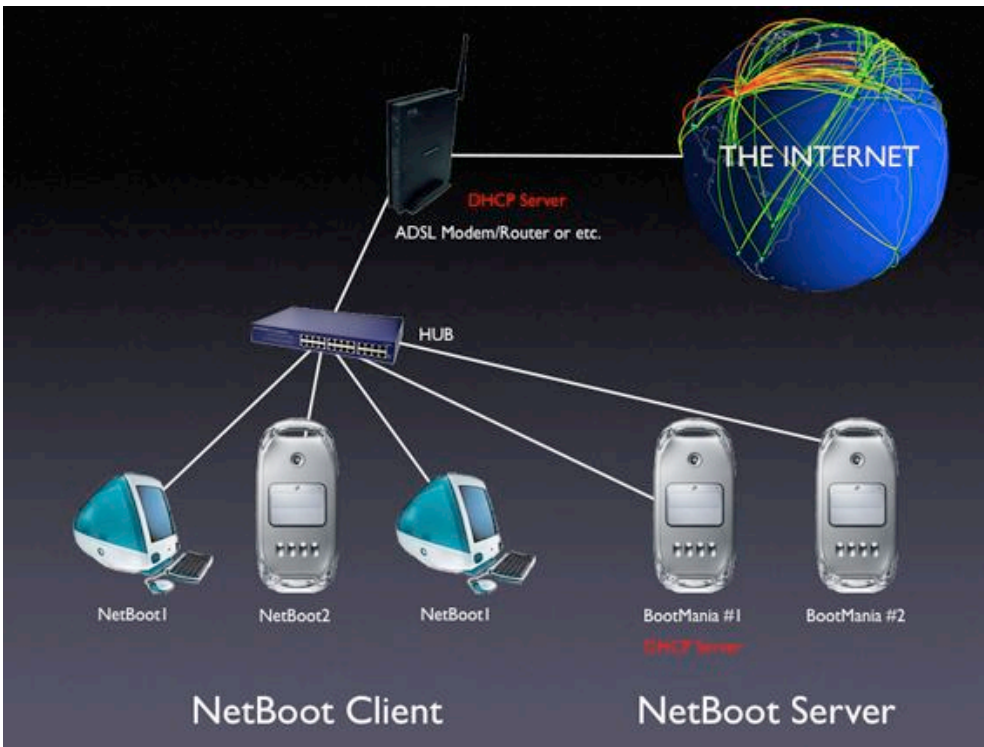


- 既存/BootManiaのDHCPサーバを使用する環境(NetBoot1/2対応クライアント混在)



※ADSLモデム(DHCPサーバ)とBootMania(DHCPサーバ)のIPアドレス割当アドレス範囲が重複しないように設定する必要があります。

- 2つのBootManiaを使用し負荷分散させる環境



BootMania実行

BootManiaのアイコンをダブルクリックして実行します。初回起動時のみ管理者パスワード認証がおこなわれますのでパスワードを入力してください。



BootManiaの環境設定タブを選択します。

The screenshot shows the BootMania 2nd Boot environment settings window. The 'Environment Settings' tab is selected. The DHCP section is active, showing settings for DHCP server startup, subnet name (BootMania), network (192.168.1.0), IP address range (192.168.1.101 to 192.168.1.199), mask (255.255.255.0), router (192.168.1.200), and domain name server (192.168.0.1). The Services section shows interface (en0), IP (192.168.1.201), client count (4), client name (NetBoot), connection sound (checked), and shadow file auto-deletion (checked). The Download section shows a transfer timeout of 120 seconds.

• DHCP

DHCPサーバを起動

DHCPサーバを起動する場合にはチェックします。NetBoot1対応のクライアントをブートさせるときは必須となります。

サブネット名

"BootMania"固定です。変更できません。

ネットワーク

ネットワークのアドレスを指定します。

IPアドレスの割当範囲が192.168.0.1~192.168.0.254のネットワークでは192.168.0.0と指定します。

IPアドレスの割当範囲が192.168.1.1~192.168.1.254のネットワークでは192.168.1.0と指定します。

IPアドレス(開始/終了)

IPアドレスの割当範囲が192.168.0.1~192.168.0.254のネットワークでは開始(192.168.0.1) 終了(192.168.0.254)と指定します。

マスク

IPアドレスの割当範囲が192.168.0.1~192.168.0.254のネットワークでは255.255.255.0と指定します。

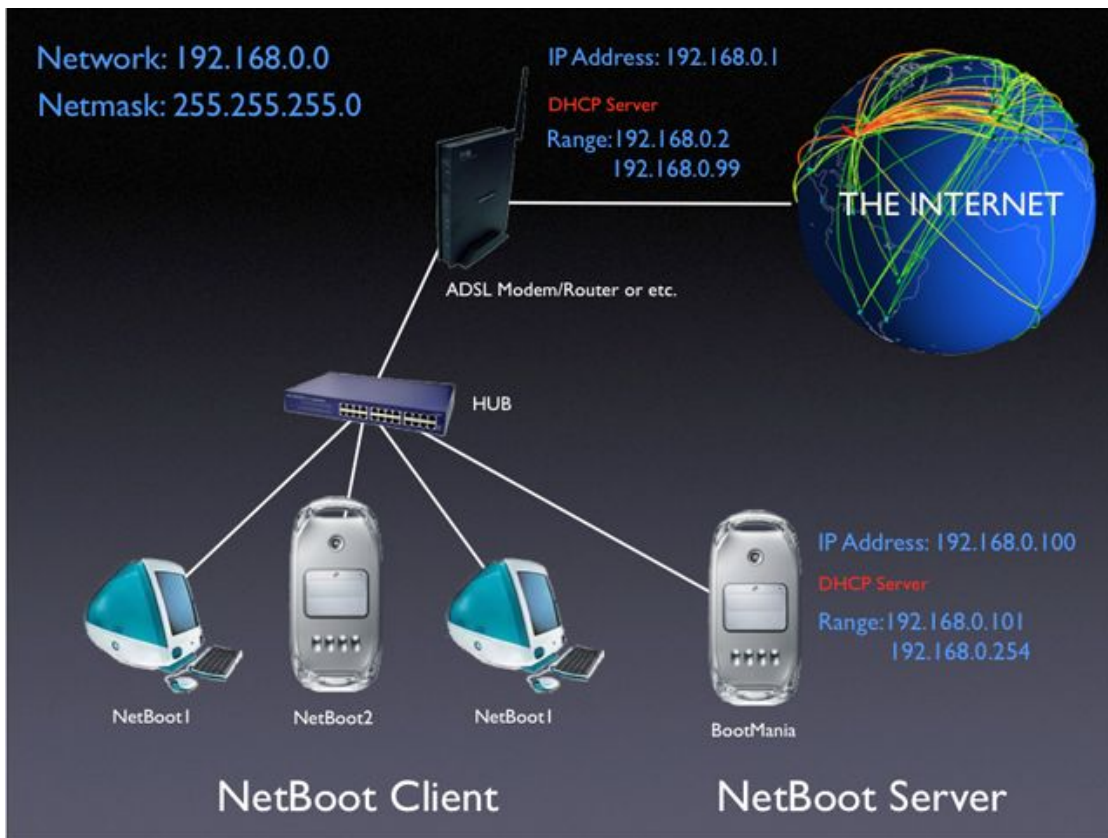
ルータ

ネットブートしたクライアントがインターネットに接続するときルーティングが必要な場合に使用します。ルータとなる機器のIPアドレスを入力します。使用しない場合には空にしてください。

ドメインネームサーバ

ネットブートしたクライアントがインターネットに接続するときドメインネームサーバが必要な場合などに使用します。ドメインネームサーバのIPアドレスを入力します。使用しない場合には空にしてください。

DHCPの設定例



ネットワーク	192.168.0.0
IPアドレス(開始/終了)	192.168.0.101~192.168.0.254
マスク	255.255.255.0
ルータ	192.168.0.1
ドメインネームサーバ	192.168.0.1

● サービス

インタフェース

イーサネットワークポートを複数持つMacでは、ネットブートサービスを提供するポートを選択できます。他の通信で使用するポートと異なるポート設定にすることにより負荷分散する為に使用します。BSD装置名と呼ばれる、表現形式で表示されます。複数のポートがあるMacが使われている方は、/アプリケーション/ユーティリティ/システムプロファイルを起動し、ネットワークの項を選択することにより、BSD装置名と通常Macで使われるフレンドリーなポート名称との対応づけが確認できます。

クライアント数

何台のクライアントを同時に使用するかを指定します。

クライアント名

OSXにおいて、コンピュータ名、ローカルホスト名と呼ばれる名前を指定します。各クライアントには通番を付加したユニークな名称を動的に割当ります。NetBootと指定した場合には、NetBoot001、NetBoot002、NetBoot003...のように付加されます。IPアドレスのかわりに、NetBoot001.localといった名称を使用して各クライアントにアクセスできます。

接続音

クライアントとの接続が確定したときに選択された音声を再生します。

Shadowファイルの自動削除

NetBootしたクライアントマシン上で、ファイルを作成したりした場合、それらのファイルはネットブートサーバ上のShadowファイルに取られます。このファイルはサービス停止後に不要となりますので、サービス停止時にこのファイルを自動的に消去するかどうかを選択します。

● ダウンロード

転送タイムアウト時間

イメージダウンロードの機能において使用します。インターネットの接続速度が遅い環境ではこの値を増やしてください。

● イメージの作成



イメージ作成タブを選択し、イメージの名称を入力します。
次にイメージソースとなるメディアを選択します。

○ NetBootイメージの作成

OSXやDarwinのインストールCDから直接NetBootイメージの作成は行えません。一旦ハードディスクにインストールを行って頂き、そのハードディスクのパーティションを元ソースとし、NetBootイメージを作成する手順となります。

このときMacを起動するのに使用したパーティションは元ソースとして使用できませんので、以下のような方法で元ソースを用意する必要があります。

NetBootイメージ元ソースの準備

- 内蔵ハードディスクを分割し、OSXを2パーティションにインストール
- 外付けハードディスクにインストール
- インストール済みハードディスクからディスクユーティリティを使用してイメージ化しマウント
- その他(起動可能なツールなどのCD/DVD Drive Genius等)

上記のように準備が済んでいる場合には、イメージソースとして選択できるようになります。

○ NetInstallイメージの作成

イメージの元になるOSのメディア(CD/DVD)をドライブにマウントするか、ディスクイメージをファイナダ上でダブルクリックするなどしてマウントします。マウントしたソースがイメージソースに表示され、イメージソースの情報にOSの詳細が表示されますので、内容を確認してください。

○ オプション

機種チェックの無効化(Tiger)のみ

Mac OSX 10.4のサポートから外されたMacの為のオプションです。NetInstallイメージ作成時にチェックすることにより、インストールできるようになります。iMac(ボンダイ)にてインストールでき動作することを確認していますが、Apple社がサポート対象外としているMacでMac OSX 10.4が正常に動作することを保証するものではありません。

イメージ圧縮(Mac OS Xのみ)

ネットブートのイメージは大量にディスク容量を消費しますので、イメージを圧縮する機能があります。ディスク容量を節約したい方はチェックしてください。

準備が終わりましたら、イメージ作成ボタンを押してイメージ作成を開始します。

CDメディアかCDディスクイメージの場合、2枚目以降のディスクが要求されますので、メディアの入れ替え、またはディスクイメージをマウントします。なお、ディスクイメージの場合には、あらかじめ、すべてのイメージをマウントしておくことで、連続して処理されます。作成が終わりましたら、イメージリストタブを選択しイメージが表示されていることを確認してください。

• イメージのダウンロード



イメージダウンロードタブを選択し、OS/イメージ名称からダウンロードしたいOSを選択します。次にイメージソースからダウンロード元のサイトを選択し、イメージダウンロードボタンを押してダウンロードを開始します。ダウンロードが終わりましたら、イメージリストタブを選択しイメージが表示されていることを確認してください。

• イメージの格納場所について

作成/ダウンロードしたイメージは以下の場所に格納されます。

起動ディスクの「/ライブラリ/NetBoot/NetBootSP0」

.nbiの拡張子を持つファイルがブートイメージです。ファインダ上でのファイル名変更は避けてください。そのイメージでのブートが出来なくなるなどの障害が発生する可能性があります。名称の変更が必要な場合には、BootManiaのイメージリスト上で変更することができます。バックアップのためにブートイメージをコピーしたり、そのバックアップを戻すことは問題ありません。

Shadowファイルの格納場所は以下のディレクトリです。

起動ディスクの「/ライブラリ/NetBoot/NetClients0」

ShadowファイルとはNetBootしたクライアントが使用するワークスペースです。各クライアントごとに作成されます。

NFSエクスポートディレクトリは以下の場所です。

起動ディスクの「/ライブラリ/NetBoot/Export」

Linux/BSDをローカル環境でインストールする場合、インストールCDのISOイメージファイルを上記のディレクトリに格納してください。Linux/BSDのインストーラにおいてNFS経由でインストール可能な場合には、このディレクトリを指定することによりISOイメージからのインストールが可能です。

指定時のパスは「/Library/NetBoot/Export」になります。



イメージリストタブを選択してください。
作成/ダウンロードしたイメージの一覧が表示されます。

各イメージの行の先頭にあるチェックボックスは有効/無効を切り替えるのに使用します。チェックすることによりネットブートサービスにおいて、そのイメージをクライアントが使用できるようになります。

Indexの表示

チェックすることにより、イメージのインデックス番号が表示されます。この番号はイメージを識別するための番号です。イメージ全体においてユニークである必要がありますが、通常は自動的に付加されますので意識する必要はありません。同一ネットワーク上にネットブートサーバを複数台立ち上げた場合、負荷分散(ロードバランスの調整)をすることができますが、このとき各イメージのインデックス番号をネットブートサーバ間で一致させる必要があります。インデックス番号はダブルクリックにより変更できます。

- 1~4095:自ネットブートサーバ固有のローカルなネットブートイメージ
- 4096~65535:ネットブートサーバ間で共通なネットブートイメージ

Arch

各イメージが対象とするマシンアーキテクチャを示すアイコンが表示されます。

- PPC: PowerPC CPU搭載Machintosh用のネットブートイメージ
- i386: Intel CPU搭載Machintosh用のネットブートイメージ
- UNI: PowerPC CPUおよびIntel CPU搭載Machintosh用のユニバーサルネットブートイメージ

OS

OSの種類(OS9/OSX/Darwin/Linux/BSD)を示すアイコンが表示されます。

Type

NetInstall/NetBootのどちらのタイプかがアイコンで表示されます。
下向きの矢印はNetInstallを表し、フォルダのマークはNetBootを表します。

名称

イメージの名称です。全イメージにおいてユニークな名称である必要があります。名称はマウスでダブルクリックすることにより内容を変更することができます。ただし、Linux/BSDのイメージは仕様により名称変更できません。

説明

イメージの説明文です。説明文はマウスでダブルクリックすることにより内容を変更することができます。

イメージの削除

削除したいイメージを選択した状態で、イメージの削除ボタンを押すことにより削除がおこなえます。

BootMania画面上部のサービス開始ボタンを押すことにより、ネットブートサービスを開始できます。

サービスを開始したら、ネットワークに接続している他のMac上のシステム環境設定/起動ディスクを確認してみてください。イメージリスト上で有効になっているイメージが選択子として表示されるはずです。表示されない場合にはネットワークの接続に問題があるかBootMania設定に誤りがあります。

※システム環境設定/起動ディスクでの表示制限

Darwin/OpenDarwin/Linux/BSDのイメージはすべてOSXとして表示されます。

BootManiaはApple社の仕様を独自に拡張して機能を実現している為、このような表示になります。

クライアントをネットブートさせる方法は3種類あります。

● システム環境設定/起動ディスクで選択する方法

システム環境設定/起動ディスクで選択し、再起動ボタンで再起動します。再起動時にネットブートを開始します。アップルのロゴとともに地球が回るアイコンが表示されネットブートが開始します。

※この方法で起動ディスクを変更すると、一旦電源をOFFしたあとも起動ディスクは記憶されたままとなります。

● クライアント起動時にNキーを押下する方法

クライアントのMacの電源投入後すぐにNキーを押したままにします。アップルのロゴとともに地球が回るアイコンが表示されます。この状態になったらNキーを離してください。BootManiaのイメージリスト上で複数有効にしている場合、どれか一つで起動します。

※この方法でネットブートしたい場合には、BootManiaのイメージリスト上で有効にするイメージを一つに制限してください。

● クライアント起動時にOptionキーを押下する方法

クライアントのMacの電源投入後すぐにOptionキーを押したままにします。しばらくすると、起動ディスクを選択する画面が表示されます。この状態になったらOptionキーを離してください。起動ディスクの一覧からネットブートを選択して起動してください。アップルのロゴとともに地球が回るアイコンが表示されます。

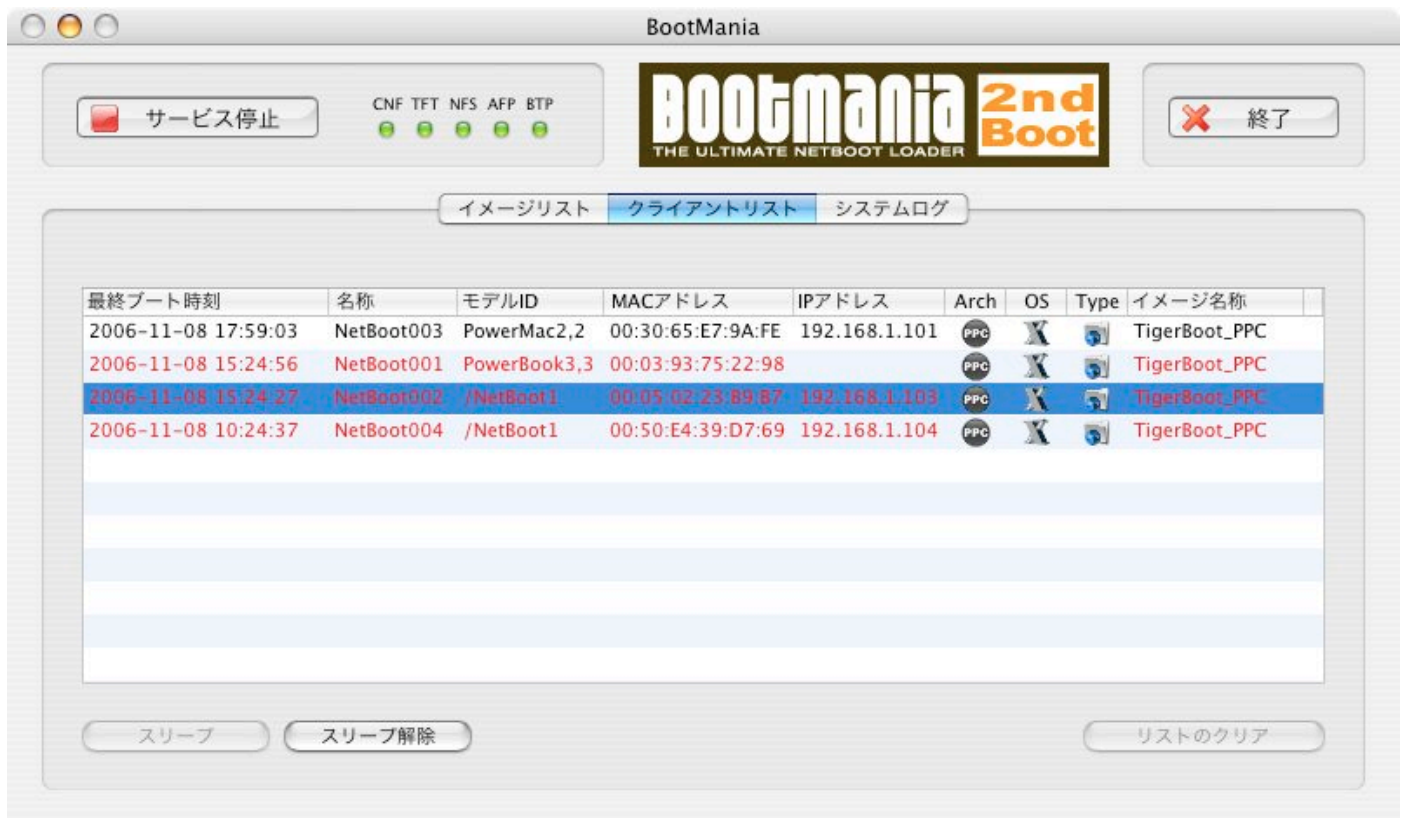
※この方法はいくつかの古いMacではおこなえません。

※BootManiaのイメージリスト上で複数有効にしている場合、どれか一つしか表示されません。

※この方法でネットブートしたい場合には、BootManiaのイメージリスト上で有効にするイメージを一つに制限してください。

※この方法で起動ディスクを変更すると、一旦電源をOFFしたあとも起動ディスクは記憶されたままとなります。

クライアントリストタブを選択します。



現在接続されているクライアントと接続したことのあるクライアントが表示されます。黒色で表示される行は現在稼働しているマックを表し、赤色は現在スリープ中か電源の入っていないマックを表します。ブートした時刻や、ブートしたOSの情報などがリアルタイムで表示されます。

最終ブート時刻

最後に起動した時刻、もしくは起動予約された時刻が表示されます。

名称

クライアント名が表示されます。

モデルID

マックの種類を示すモデルIDが表示されます。

MACアドレス

MACアドレスが表示されます。

IPアドレス

IPアドレスが表示されます。

Arch

- PPC: PowerPC CPU搭載Machintosh用のネットブートイメージ
- i386: Intel CPU搭載Machintosh用のネットブートイメージ
- UNI: PowerPC CPUおよびIntel CPU搭載Machintosh用のユニバーサルネットブートイメージ

OS

OSの種類(OS9/OSX/Darwin/Linux/BSD)を示すアイコンが表示されます。

Type

NetInstall/NetBootのどちらのタイプかがアイコンで表示されます。下向きの矢印はNetInstallを表し、フォルダのマークはNetBootを表します。

イメージ名称

イメージの名称が表示されます。

スリープ

リモートAppleEventにより、選択されたマックをスリープ状態にすることができます。
この機能を使用するためには対象マックの「システム環境設定/共有/サービスタブ」の「リモートAppleEvent」が開始されている必要がありますので、イメージソースにおいて有効な状態にしてイメージを作成してください。

スリープを実行すると、対象マックの管理者IDとパスワードの要求が行われますので、入力してください。

スリープ解除

スリープ状態の選択されたマックをスリープ解除することができます。

この機能を使用するためには対象マックの「システム環境設定/省エネルギー/オプションタブ」の「Ethernetネットワーク管理者のアクセスによってスリープを解除」が有効となっている必要がありますので、イメージソースにおいて有効な状態にしてイメージを作成してください。

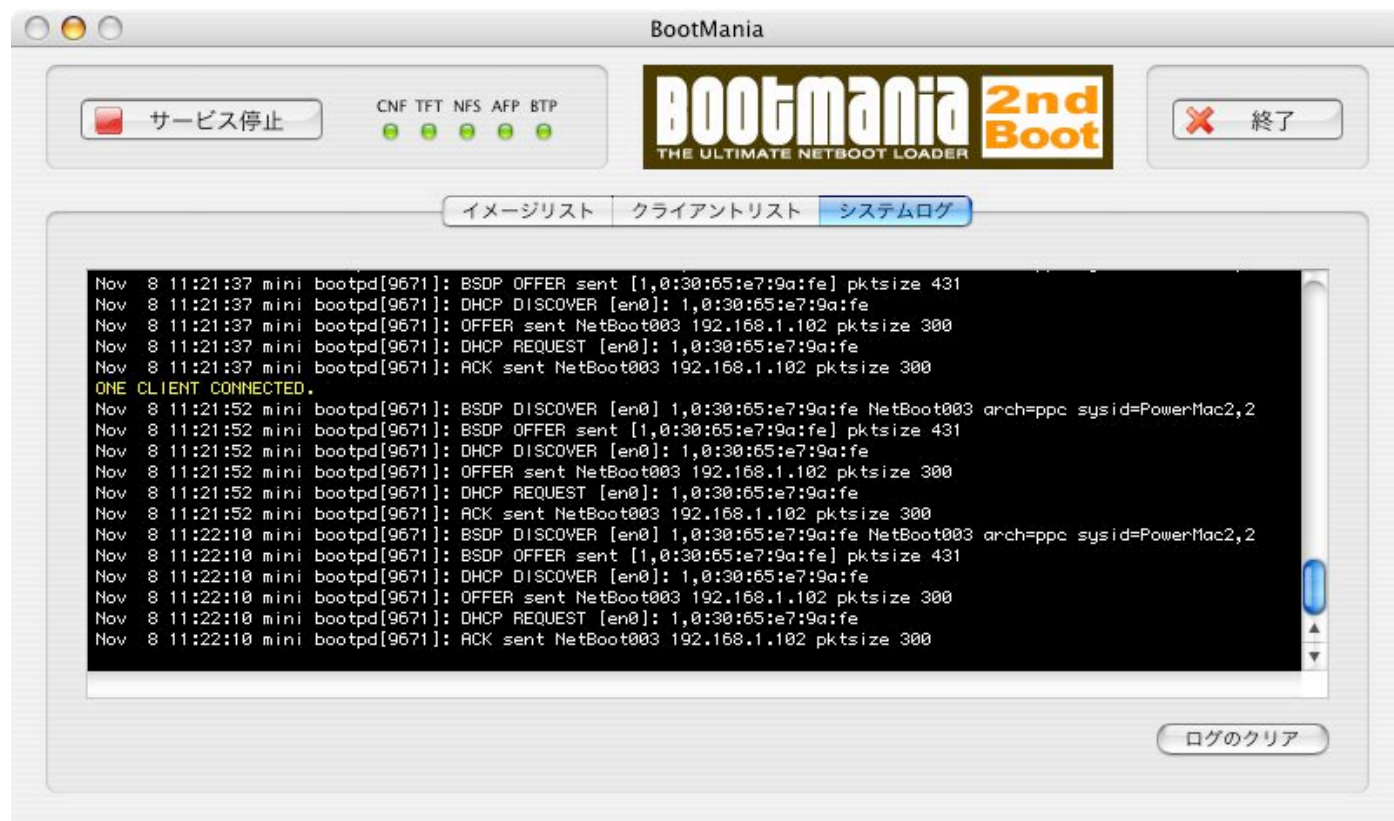
この機能はボンダイiMacなどの一部の古いマックでは使用することができません。

リストのクリア

クライアントリストのクリアをおこないます。以下の場合にはクリアをおこなってください。

- BootManiaの環境設定タブにおいてクライアント名を変更し、すべてのクライアントについて名称の変更を反映させたい場合。
- 各クライアントが標準で使用するネットブートイメージの選択状態をクリアしたい場合。
- 同一ネットワーク上にネットブートサーバを複数台立ち上げており、各サーバのクライアント分担(ロードバランス)再割り振りを行いたい場合。

システムログタブを選択します。



クライアントとの接続の様子がテキストで表示されます。

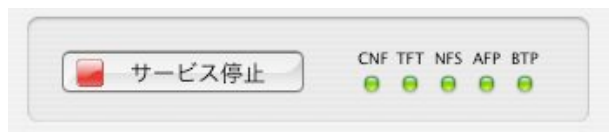
ログのクリア

表示されているログ表示をクリアします。

NetBootクライアント停止

通常の終了方法と同様です。

NetBootサービス停止



BootMania画面上部のサービス停止ボタンを押すことにより、ネットブートサービスを停止できます。

BootMania終了



BootMania画面上部の終了ボタンを押すことにより、終了できます。 ネットブートサービスが動作している場合には、サービス停止も自動でおこないます。

注意事項等

- クライアントがネットブートできない等の症状が出た場合には、PRAMクリアをおこなってください。

PRAMクリアは電源投入時に以下の手順でおこないます。

(1)command および option および P および R の4つのキーを同時押します。

(2) 2回目の起動音を確認したらキーから指を放します。

※この操作をおこなうと日付、時刻などの情報が消えますので、システム環境設定/日付と時刻設定をしておいてください。インターネット経由で時刻合わせを自動でおこなっている場合には再設定は不要です。

- ブートイメージのファイル名変更はBootMania上でおこなってください。

ファインダ上で変更した場合、クライアントが起動できないなどの症状が出る場合があります。

- 他のネットブートツールとの併用について

他のネットブートをおこなうツールとの併用は避けてください。動作しなくなる等の、障害が発生することがあります。

- ブートイメージの互換性について

Apple社のMac OS X Serverや他のツールにおいても、同様のネットブートをおこなう仕組みがありますが、ブートイメージの相互交換は避けてください。BootManiaはより多くのOSをサポートする為に、仕様を独自拡張しており、作成されるブートイメージに一部互換性がありません。おこなった場合、それ以降クライアントがネットブートできなくなるなどの症状がでることがあります。

- Mac OS Xのインターネット共有機能とは同時に使用できません

一部サービスとしての機能が重複しているため、使用できません。

- Mac OS Xのパーソナルファイル共有機能はBootMania起動時に一旦停止する必要があります

BootManiaにおいてサービス開始後はパーソナルファイル共有によるファイル共有がおこなえる状態になります。ネットブートサービスを停止すると、一旦ファイル共有がおこなえない状態となります。ファイル共有をおこなう場合には再度、パーソナルファイル共有機能をオンの状態にしてください。

- Mac OS Xのtftpd/nfsd/dhcp(bootp)機能の併用について

ネットブートサービスを実現するためにtftpd/nfsd/dhcp(bootp)の機能を使用しております。BootMania終了時には設定を戻す仕組みとなっておりますが、使用されていた各機能の設定と変更箇所が重複した場合、動作に影響を与える可能性があります。tftpd/nfsd/dhcp(bootp)を使用しているMacではBootManiaを実行しないようにしてください。

- クライアントをNetBootした時のファイル作成について

NetBootしたクライアントで操作した起動パーティションに対するファイルの書き込み等は、終了時にすべて失われます。ファイルを保存したい場合には、クライアントのローカルハードディスクかネットワーク上のストレージにコピーしてください。

- ユーザアカウントについて

ネットブートサービスを開始するとクライアントがサーバ上のブートイメージにアクセスできるよう一時的なアカウントを作成します。作成されるアカウントは以下のとおりです。

netboot100、netboot101、netboot102 (後ろ3桁の数字が増える)

上記のアカウント名は、通常使用するアカウントとして作成しないでください。

購入方法

継続して利用される場合には、ご購入ください。ただし、Linux/BSDについては試用版の範囲内でのみ利用する場合、購入する必要はありません。

購入はBootManiaを動作させるMac一台ごとのライセンス販売となります。一つのライセンスによって複数台数のMac上にて動作させることができません。後述の使用条件をよくお読みの上、お申し込みください。

購入手順

まず、購入後にBootManiaを動作させるMacでBootManiaを試用していることを確認してください。購入後にBootManiaを使用するMacを変更することは出来ません。

BootManiaのイメージリスト画面下部にあるカートのボタンを押して表示される購入コードと一緒にメールにてお申し込みください。



購入コードは以下のような形式です。(括弧内の内容は異なります)

Purchase Code=[003065E79AFE]

現在のところお支払い方法は銀行振込のみとなります。申し訳ありませんが振込手数料は、お客様側でご負担願います。申し込みの折り返しのメールにて、お支払い方法をご連絡いたします。入金を確認後、ライセンスキーをメールにてお送り致しますので、BootManiaのイメージリスト画面下部にあるライセンスインポートボタンを押してライセンスのインポートをおこなってください。



BootManiaを一旦終了する旨のメッセージが表示されますので、再度BootManiaを実行してください。制限が解除されたことを確認して頂き購入手続きが完了します。

Linux/BSD/Darwin用の画像の使用許可を下された方々に感謝致します。

- Tux



Linux has an official mascot, Tux, the Linux penguin, which was selected by Linus Torvalds to represent the image he associates with the operating system. Tux was created by Larry Ewing and Larry has generously given it to the community to be freely used to promote Linux. More information on use of the image can be found on his webpage. More links to variations on the image and alternative logos can be found on our logo page.

<http://www.isc.tamu.edu/~lewing/linux/>

Larry Ewing lewing@isc.tamu.edu

- The BSD Daemon



[BSD Daemon used with permission.](#)
<http://www.mckusick.com/copyright.html>

BSD Daemon Copyright 1988 by Marshall Kirk McKusick. All Rights Reserved.

Permission to use the daemon may be obtained from:
Marshall Kirk McKusick
1614 Oxford St
Berkeley, CA 94709-1608
USA
or via email at mckusick@mckusick.com.

<http://www.mckusick.com/beastie/index.html>

- Hexley



[Hexley used with permission.](#)
<http://www.hexley.com/license.html>

Hexley DarwinOS Mascot Copyright 2000 by Jon Hooper All Rights Reserved.

Permission to use the mascot may be obtained from:
Jon Hooper
646 Luton Drive
Glendale CA 91206
USA
or via email at jonhoops@mac.com.

<http://www.hexley.com>

そしてオープンソースコミュニティの方々に感謝致します。

使用条件

以下に使用条件を示します。
内容にご納得頂ける方のみ、ご使用/ご購入下さるようお願いいたします。

- 著作権について記載のない部分のBootMania(以下ソフトウェア)の著作権およびその他一切の知的財産権は、ビーンズに帰属します。
- ソフトウェアをビーンズに無断で再頒布することはできません。
- ビーンズはソフトウェアの仕様を何らの予告なく変更、販売を中止することがあります。
- ソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすることを禁止します。
- ソフトウェアを使用することによって、あるいは使用できないことによって発生した損失や損害に対してビーンズは代金の返金以上の責任を負いません。試用版についてはあらゆる損害について一切の責任を負いません。
- このソフトウェアはライセンスキー販売形式となっております。購入後は基本的に返品できません。試用版の範囲で、ご納得して頂いた上でご購入くださるようお願い致します。
- お客様が、この使用条件で定める事項の一つでも違反した場合、ビーンズは、お客様に対して、本ソフトウェアの使用を中止させることができるものとします。
- ビーンズはこの使用条件を、お客様の承諾を得ることなく変更することがあります。

以上

2005-2007年 Beanz/ビーンズ.

